

令和3年度第3回 豊中市総合計画審議会（書面会議）

次 第

1. 政策評価結果への意見及び意見集(案)の構成について

資料2：「2021年度(2020年度実施分)政策評価結果について」に対する意見について

資料3：「2021年度(2020年度実施分)政策評価結果への意見集(案)」に対する意見について

資料4：2021年度(2020年度実施分)政策評価結果への意見集(修正案)について

資料5：令和3年度(2021年度)第3回豊中市総合計画審議会 表決書

資料6：案件に対する質問シート

資料7：案件に対する意見シート

参考2：2021年度(2020年度実施分)政策評価結果

2. その他

＜表決書及び質問シートの返信期日＞

・資料6の質問シート及び資料7の意見シート

→12月17日(金)までにご返信ください。

・資料5の表決書

→12月28日(火)までにご返信ください。

＜今後の日程＞

○1月中旬頃：表決結果及び議決内容の送付

○2月上旬頃：完成した意見集の送付

＜資料＞

【資料1】第3回豊中市総合計画審議会(書面会議)に関する説明について

【資料2】「2021年度(2020年度実施分)政策評価結果について」に対する意見について

【資料3】「2021年度(2020年度実施分)政策評価結果への意見集(案)」に対する意見について

【資料4】2021年度(2020年度実施分)政策評価結果への意見集(修正案)について

【資料5】令和3年度(2021年度)第3回豊中市総合計画審議会 表決書

【資料6】案件に対する質問シート

【資料7】案件に対する意見シート

【参考1】第4次豊中市総合計画(本編)

【参考2】2021年度(2020年度実施分)政策評価結果

【参考3】令和3年度第2回豊中市総合計画審議会(書面会議) 議事要旨

※【参考1】及び【参考2】については、第1回書面会議時に配布しています

第 3 回豊中市総合計画審議会(書面会議)に関する説明について

1. 第 2 回書面会議に関するご報告

- ・ 案件 1「総合計画審議会委員からのご要望について」の表決結果は、12月10日付豊都経第1558号「令和3年度第2回豊中市総合計画審議会(書面会議)の表決結果について」のメールにて送付したとおりです。
(案件1の表決結果 賛成：10票)
- ・ 11月17日締め切りの【資料7】意見シート(追加意見)でいただいた意見は、7件ありました。
ご意見は資料2に追記しています。
- ・ 11月30日締め切りの【資料8】意見シート(意見集案)でいただいた意見は、5件ありました。
ご意見は資料3にまとめており、意見集案への反映についても記載しています。
これを基に、資料4を修正しています。

2. 第3回書面会議について(ご依頼)

- ・ 案件1「政策評価結果への意見及び意見集(案)の構成について」
→下記の提出期日までにご提出ください。
なお、質問や意見がない場合は、①の提出は不要です。ただし、質問と意見がない旨のご返信をお願いいたします。

①12月17日(金)締切：「資料6 質問シート」「資料7 意見シート」

※資料6及び資料7については、資料4「2021年度(2020年度実施分)政策評価結果への意見集(修正案)について」に関する質問及び意見をご記入ください。

②12月28日(火)締切：「資料5 表決書」(必須)

※資料2「2021年度(2020年度実施分)政策評価結果について」に対する意見についてに関しては、第2回審議会でもお伝えしていたとおり、事務局がすべての意見について各シートの担当課にフィードバックします。

2021年度(2020年度実施分)政策評価結果についてに対する意見について

※施策及び施策の方向性の順番で表示しています。

※第2回審議会でいただいた追加意見は、水色セルで表示しています。

○全体を通して

No	種別	指摘箇所	指摘内容	意見集(案)の掲載
1	評価シート	シート全般	コロナ禍における施設の閉鎖やイベントの中止があり、評価指標の実績値が大きくダウンした施策も数多く見られる。その下でC評価につながる施策や施策の方向性が見られないこと、またA評価の施策が数多く見られることは大いに評価できる。様々な代替策を駆使して施策を展開されたことをうかがわせる結果であろう。 ただ、評価シートの成果や問題点の記述において、異常なコロナ禍を想定外の要素として扱い、PDCAへの影響を重く見ない例も散見される。特に、指標値が大きくダウンしているような場合には、総合評価や進捗状況の評価にコロナ禍の影響も適切に反映すべきだと思われる。	総論 No1 総論 No3
2	施策の方向性シート	シート全般	個々の指摘はしないが、「問題点」と「今後の方針」が整合していないものも少なくない。PDCAのCAにあたることであり、「問題点」の解決のための「今後の方針」であることをより意識して記述して欲しい。	総論 No4
3	施策の方向性シート	シート全般	今年度、多くの施策の方向性シートで新型コロナウイルス感染症の影響と対応について記述されていました。今後も、「成果」や「問題点・今後想定される事項」の記載にあたっては、施策の方向性に関係のある社会問題や環境の変化、制度変更などへの対応について検討し、その結果を「今後の方針」に反映させると、よりPDCAサイクルが回るようになると思います。	総論 No9
4	評価シート	シート全般	総合計画審議会の場に各課の担当者が出席する必要はないと考えますが(各分野にはそれぞれの専門の審議会などがあり、政策の内容はそこで論議されているはずですから)、なぜその提言が採用されなかったのか、その理由については簡単な書面であっても委員にフィードバックされるべきであると考えます。そうでないと同じ内容の提言が、毎年繰り返される可能性があると思います。	—
5	評価シート	シート全般	細部に亘り的確に意見、指摘がなされており、十分な成果が出ていると思う。	—

○第1章

No	種別	指摘箇所	指摘内容	意見集(案)の掲載
1	施策シート	P15 第1章-1 総合評価の理由	「今後のコロナの影響による変化、ニーズの変化等を見極め対応していく必要がある」から「B」として いるが、2020年度の取り組みに対しての評価を記載して欲しい。	総論 No5
2	施策シート	P15 第1章-1 総合評価の理由、 P35 第1章-1-(1) 成果など	本件の記述は、諸事情に配慮をして施策を推進しているように思われる。情勢変化を憂慮して(警戒 を緩めないという意味で)Bにしているのだと思うが、PDCAサイクル的にはA記載して良いように感じ る。方向性シートでは、1-1-(1)で切れ目のなさ(例えば一回の来所で二件以上の用務を済ませた件 数など)の指標によって、狙う方向性の実現しつつあることを強調した方が妥当に思われる。	総論 No5
3	施策シート	P15 第1章-1 総合評価の理由	「今後も新型コロナの影響による社会情勢の変化や子育て世帯のニーズの変化等を見極め対応して いく必要があるため、施策全体の評価は「B」としました」とあるが、2020年度に成果が出ているので あれば「A」でいいと思う。「B」になるのであれば、具体的にどのような課題が残ったのかを評価すべ きで、またその対応策まで書くべきである。	総論 No5
4	施策シート	P15 第1章-1 総合評価の理由	「4月1日時点の待機児童について、平成30年から令和3年度まで4年連続でゼロを維持しました。」と ありますが、これは「国基準」のよるものであることを明記すべきだと思います。 なぜなら、市が別途公表しているデータにはその旨が記載され、「国基準」から外れた待機児童が 395人いること記されているからです。 「待機児童ゼロ」は聞こえのいいフレーズですが、実態をより正確に反映し、それに基づいた記述をす べきです。	—
5	施策の方向性 シート	P35 第1章-1-(1) 指標の2つ目	「健やか親子21」を指標の出典としていますが、この事業の(豊中市健康医療部の)施策の成果を図 るための根拠、指標とすることは適切でしょうか。	— (第2回で回答済み)
6	施策の方向性 シート	P36 第1章-1-(2) 成果など	成果に「入所選考において、AI選考ツールのテスト稼働を実施しました」とありますが、下の問題点・ 今後想定される事項のところ「AI選考ツールを活用した通知・待機児童対策等新たな運用実施が 必要です。」とすぐに述べられています。このツールで何が効果的だったのかの検証にふれられぬま ま「運用実施が必要だ」と書くのは、どうなのだろうかと感じました。	総論 No4
7	施策シート	P16 第1章-2 総合評価の理由	①「研修を実施した」「タブレットを活用した」「協定を締結した」等「DO」が多く記載されているが、それ によりどのような成果があったのかをわかりやすく記載して欲しい。 ②施策名の「未来を切り拓く力が育まれる」ことへの達成度(成果)が分かりにくい	総論 No7 各論 1のNo1
8	施策シート	P16 第1章-2 総合評価の理由 P39 第1章-2-(2) 成果など	評価の根拠として、各種取り組みが記載されているが、本来はアウトカム(社会的成果)で記述すべ きである。例えば、「感染症予防と保育の質向上のための研修」を行った結果、クラスターを発生させず に保育の質自体を維持できた、といった書き方が望ましい。また例えば英語教育の推進によって、小 学生のうちに検定試験を受験した学童数がどの程度伸びたかといったトレンドを表す指標があると進 捗が可視化される。	総論 No7
9	施策シート	P16 第1章-2 総合評価の理由	総合評価の理由の欄に、「東京書籍(株)と民間包括協定を締結しました。」とありますが、これが何を 意味するかわかりません。タブレットやICTに関することかと思いますが、短くても何に関する協定か 説明が要ると思われます。	—

No	種別	指摘箇所	指摘内容	意見集(案)の掲載
10	施策シート	第1章-2 総合評価の理由	全般的に取り組みばかりが記入されていて、成果が見えない。また、「コロナ禍で見えてきた新たな課題」とあるが具体的にはどのような課題かを記入すべきである。	総論 No7
11	施策シート, 施策の方向性 シート	P16第1章-2, P39第1章-2-(2) 成果など	豊中の保育・教育の誇るべき取り組みである「共に学ぶ教育の推進」に関する評価がどちらにも欠落しています。 これは、一昨年から議論になっていたことですが、昨年度の第2回審議会では「今回の P3 の『共に学ぶ教育の推進』についての委員からのご指摘は、事務局から責任をもって担当課にフィードバックしてください。」とのまとめがされました。 二つのシートを見る限り、フィードバックされたのかどうか、また、どのように受け止めたのかわかりません。 これは大事なことです、しっかり評価し、書きこむべきだと思います。	—
12	施策の方向性 シート	P39 第1章-2-(2) 成果など	35人学級を3年生で実施したのは大きな成果だと感じたが、評価シートでもその点にふれるべきではないのだろうか。	—
13	施策シート	P17 第1章-3 総合評価の理由	総合評価の理由の欄に、コロナ禍における子ども食堂フードデリバリー事業の創設など画期的な取り組みも紹介されています。こうした取り組みがコロナ禍においても開始されたことは意義が大きいと思いますので、施策の方向性(2)などもAにしたいかがでしょうか。	各論 1のNo2
14	施策の方向性 シート	P41 第1章-3-(1) 成果	「DO」が多く記載されているが、それによりどのような成果があったのかをわかりやすく記載して欲しい。	総論 No7
15	施策の方向性 シート	P15~16 第1章-1~ 第1章-2	コロナ禍において、この分野は益々重要性が増してきている様に思います。その意味で現状全てB評価であることが残念です。市の発展には子供たちの明るい未来が保障されていることが不可欠です。引続き注力して頂き一つでもA評価になっていくことを期待しています。	—

○第2章

No	種別	指摘箇所	指摘内容	意見集(案)の掲載
1	施策シート	P18 第2章-1 総合評価の理由	評価の理由が「地域共生社会実現のための相談支援体制強化が必要・Bとした」とあるが、地域共生社会実現は簡単に達成できるものではなく、Bの根拠が分かりにくい。	各論 2のNo1
2	施策シート	P19 第2章-2 総合評価の理由	成果が分かりにくい表現となっている。	総論 No7
3	施策シート	P19 第2章-2 総合評価の理由 P51 第2章-2-(3) 成果など	第1章のNo2の記載と同様の理由でA評価が妥当すると思う。特に医療福祉領域ではもともとPDCA、すなわち営為を過程とみなす認識が浸透しており、本件記載は評価の文法にかなった適切なものだと感じる。この記述を見る限りでは、憂慮すべき事情は依然あるにせよ、計画・実行において不安があまり存在せず、適切に対処しているように思われた。2-2-(3)などは、より踏み込んで、豊中市としての医療提供が危機に直面しつつも適切に対処したといった肯定的な表現があって良い。	総論 No5
4	施策シート	P19 第2章-2 総合評価の理由	コロナ患者の入院対応をより円滑に効率的に行える家庭—地域—保健所—病院の連携システムの構築も課題ではないか。	—
5	施策シート	P19 第2章-2 総合評価の理由	新型コロナウイルス対策に係る取り組みが記載されていますが、数字としては相談件数、検査件数、陽性者数があるのみで、記述内容は物足りません。豊中市内の実態・取り組みが具体的にわかるように、もう少し詳細なデータも示して、分析結果を豊富化しないと、検証にはならないと思います。	—
6	施策の方向性シート	P50 第2章-2-(2) 成果	子宮頸がんワクチンの接種率増加につながったとあるが、指標欄には子宮頸がんワクチンについての数値が示されていないので、成果の本文中に数値を記載するとより分かりやすくなるのでは。	総論 No6
7	施策の方向性シート	P51 第2章-2-(3) 成果など	コロナによって救急救命体制にどんなひっ迫があったのか・なかったのかについての検証をし、それをふまえた課題提起をすべきです。コロナは一過性ではないことを踏まえれば、先を見通したプランも不可欠です。	—
8	施策の方向性シート	P52 第2章-3-(1) 成果	影響度の大きかった事業において、WEB講習やYOU TUBE配信を行ったと挙げているので、成果において講習受講者数やアクセス数等も記載すると現時点での成果が見えやすくなるのではないかと。	総論 No6
9	施策の方向性シート	P53 第2章-3-(2) 指標	「一声訪問訪問件数」2018年～3年間10,000件を超える実績値があるにも関わらず2022年度の目標値が6000件であるのはなぜか。	— (第2回で回答済み)
10	施策シート	P21 第2章-4 総合評価の理由	もともと「対策の充実」よりも「安全の確保」といったアウトカム表現が望ましいと思うが、取り組み自体は着実かつ住民との連携をとったものに見受けられる。そのため、評価根拠としては、事業(アウトプット)の量ではなく、住民(組織)に安全対策の情報共有が浸透していった、など成果中心に記載するよう心がけられたい。	各論 2のNo2
11	施策シート	P21 第2章-4 総合評価の理由	評価はAでいいと思うが、今後は防災意識の低い市民へも意識向上を図る取組を充実して欲しい。	—

No	種別	指摘箇所	指摘内容	意見集(案)の掲載
12	施策シート	P20 第2章-3 総合評価の理由	<p>豊中市では2020年1月29日に「第1回豊中市新型コロナウイルスにかかる危機管理対策本部会議」が開催され、2020年4月7日に「第1回豊中市新型コロナウイルス感染症対策本部会議」に引き継がれ、2021年9月10日まで本部会議は通算で38回を数えています。</p> <p>2020年度は、2020年4月2日の第16回から3月26日の第21回まで6回開催されています。シートのいくつかには、「コロナ」に関わる取り組みが散見されますが、「本部会議」はコロナ対策の司令塔とも言うべきものですが、これについての記述が見当たりません。どこかできちんと評価・検証をし、問題点や課題を書き込むべきだと思います。</p>	—

○第3章

No	種別	指摘箇所	指摘内容	意見集(案)の掲載
1	施策シート	P22 第3章-1 総合評価の理由	「一部未達成の部分や課題もあることから、施策全体の評価を「B」としました」と記載しているが、「環境基準で一部未達成なものがあり、またコロナ禍の影響を受けて数値が下がっている指標があるなど課題もあることから、施策全体の評価を「B」としました」と具体的に書いたほうが分かりやすくなる。	各論 3のNo1
2	施策シート	P22第3章-1, P25第3章-4, P26第3章-5 総合評価の理由	「総合評価の理由」の記載がとてもわかりやすかったです。	総論 No2
3	施策の方向性シート	P58 第3章-1-(2) 今後の方針	「みどりの質の向上と活用を図り、みどりを活かした安全で快適な暮らしの実現」について。 ①「みどりの質の向上と活用」とは、公園緑地の整備のことか、農地の保全・活用のことであるのか、曖昧でわかりづらい。 ②みどりを活かすことがいかに「安全な暮らし」につながるのか。成果等にもその因果関係は説明されておらず、今後の指針として「みどり」による安全な暮らしを掲げるのであれば、その現状や手段等についても更なる説明が必要であると感じた。	各論 3のNo2
4	施策の方向性シート	P59 第3章-1-(3) 成果など	成果の欄に航空機騒音の環境基準が「未達成」という記述と減便による騒音値減少の記述がみられます。当該指標の過年度実績値(0%)からは全く成果が読み取れないから、今年度この点が成果になるとも思えない。全体の進捗状況がB評価になるのは妥当だとしても、上記の記述は問題点欄に記述した方が適切である。	—
5	施策シート	P23 第3章-2 総合評価の理由	いくつかの前向きな取り組みが進んでいることは間違いありませんが、それが施策全体を強力に推進することになるかどうかは、しばらく推移を見守る必要があります。ごみの排出量も同様です。よって、評価は「B」に据え置くべきだと思います。	—
6	施策シート	P23 第3章-2 総合評価の理由	この分野は全国において注目すべき事案であり、豊中市のみで完結できる分野でなく、周辺地域との連携が必要不可欠な分野です。その意味で、吹田市との協定締結は必要な取組みと思われます。今後も箕面市や池田市など周辺市との更なる連携等積極的な対応が望まれます。	—
7	施策の方向性シート	P61 第3章-2-(2) 成果など	新型コロナウイルス感染症拡大により、使用済みのマスクやティッシュの捨て方が問題になるなど、家庭系ごみ収集者の安全を確保するための取り組みの必要性が増しているのではないのでしょうか。	—
8	施策の方向性シート	P64 第3章-3-(3) 成果など	「今後の方針」で記載されているノンステップバスの導入促進は重要な取り組みだと思います。「成果」や「問題点～」の欄で、現時点でのノンステップバスの導入状況を説明しておかれると、より説得力が増すのではないのでしょうか。	総論 No4
9	施策シート	P25 第3章-4 総合評価の理由	「総合評価の理由」の記載からは、概ね順調に進んでおり「A」評価でも良いと感じる。「B」とするならば、具体的な課題とその対応を記載して欲しい。	総論 No5

No	種別	指摘箇所	指摘内容	意見集(案)の掲載
10	施策シート	P26 第3章-5 総合評価の理由	「重点エリア」の指定や様々な生活・活動パターンに応じた環境整備の検討等、今後解決すべき課題があるため施策全体の評価はBとしました」と記載されているが、2020年度に予定されていた事業の成果が出ているのであれば「A」評価でもいいのではないかと。今後「重点エリア」の指定や様々な生活・活動パターンに応じた環境整備の検討が必要であるが、予定した事業は概ね成果が出ているため施策全体の評価はAとしました」でもいいのではないかと。	総論 No5
11	施策の方向性シート	P70 第3章-5-(2) 成果など	産業振興の視点から施策の方向性として記述されている「新たな事業の創出」に関する「Do」の記述と指標値がほとんど見当たらない。未だ「新ビジョンの策定中」(plan)ということであれば、B評価(概ね順調だが一部の取り組みの見直しが必要)ではなく、むしろC評価(課題が多く、取り組みの見直しが必要)ではないだろうか。PDCAサイクルや前年度の進捗状況(B評価)、あるいは来年度の進捗状況を想定しながら評価されたい。	—
12	施策の方向性シート	P69～70 第3章-5-(1)～ 第3章-5-(2) 影響度の大きかった事業	影響度の大きかった事業の実施内容の記載が「～します、～行います」になっているが、これは既に行った事業のうち影響力の大きかった事業についての記載ということで相違ないかと。	— (第2回で回答済み)

○第4章

No	種別	指摘箇所	指摘内容	意見集(案)の掲載
1	施策シート	P27 第4章-1 総合評価の理由	「人権についての市民意識調査」について記されていますが、この調査について、施策の方向性シートでは、影響のあった事業、指標、成果等の欄に記載がありません。総合評価の理由となる取り組みなので、方向性シートでもその内容や調査結果等記載するとわかりやすいと考えます。	各論 4のNo1
2	施策シート	P27 第4章-1 総合評価の理由	(No1の指摘内容への追加意見) 人権についての市民意識調査の結果などを具体的に記述していく、という点について、とくに部落問題についてはこの調査でしか市民意識を測ることができないので、たとえば「同和地区を含む校区に引っ越したくない」に回答者の半数に近い人が「そう思う」としているなど、課題を明確に記載してもらいたい。	—
3	施策シート	P27 第4章-1 総合評価の理由	ここには部落問題に関する記述が見当たりません。施策の柱の一つになっているわけですから、スルーせずに取り組みや検証結果、課題を書き込むべきです。	—
4	施策シート	P27 第4章-1 総合評価の理由	男女共同参画にかかわる「市民・事業所意識調査」から把握された課題は何か。意識向上だけで終わらずに明記してもらいたい。	—
5	施策の方向性シート	P71 第4章-1-(1) 成果など	A評価であるが、コロナ禍において施設の休館やイベントの中止などの影響からか指標に見る実績値は大幅にダウンしている実情である。これへの対応策を講じている点は評価できるものの、PDCAにおけるこれまでのA評価や次年度の評価(特に評価A)と矛盾しない評価基準で記述されたい。	総論 No8
6	施策の方向性シート	P71 第4章-1-(1) 今後の方針	映像記録の作成や平和展示室における映像配信は、多くの人に平和について身近に感じてもらうためにも重要な取り組みだと思います。平和を学ぶための教材として映像記録があるということをしつかりと周知することにも注力してください。	—
7	施策の方向性シート	P71 第4章-1-(1) 成果	「影響度の大きかった事業」と「成果」の記載に重複がある。また「成果」は来館者の感想文からの啓発効果のみの記載となっているので、啓発以外の成果を書く必要がある。	—
8	施策の方向性シート	P72 第4章-1-(2) 今後の方針	ウェブ上での人権啓発をすすめるとありますが、ターゲットをそこまでたどり着かせるための方法も併せてご検討ください。	—
9	施策の方向性シート	P72 第4章-1-(2) 成果	第4章のNo6とも関連するが、参加者のアンケートはあくまで「感想」であるのでそれを根拠にした記載は多用すべきではない。	—
10	施策の方向性シート	P72 第4章-1-(2) 問題点・今後想定される事項	コロナに関する人権課題のみの記載となっているので、たとえば前年実施した市民意識調査から問題点を抽出するなど、人権課題全般を視野にいれて課題をとらえ記述してもらいたい。	—
11	施策の方向性シート	P72 第4章-1-(2) 進捗状況	(1)(4)と大きく書きぶりは変わらないのに、B評価となった理由はなにか、そしてその課題を今後の取り組みにどのように生かしていくのかいずれかに記載してもらいたい。	総論 No5

No	種別	指摘箇所	指摘内容	意見集(案)の掲載
12	施策の方向性シート	P72 第4章-1-(2) 成果など	施策の方向性に「(2)同和問題をはじめ、さまざまな人権課題に関わる差別の解消を図り、人権文化の創造を進めます。」とあるように、ここでは同和問題が大きな柱になっています。しかしながら、シートにはそれを反映した記述は見当たりません。これはどういうことなのかと思います。関連して言えば、以前に「指標名」に同和問題に関するものがないので、入れるべきではないかという意見が出されましたが、そのままになっていることとも無関係ではないように思います。部落差別の解消を図ると言うのであれば、そうしたことも含めて見直し、部落差別の現状を踏まえた取り組みの成果と課題がシートに現れるようにしないと、「施策の方向性」には合致しないと思います。	—
13	施策シート、施策の方向性シート	P27 第4章-1 総合評価の理由 P72 第4章-1-(2)	コロナ禍はコロナに関わる差別はもちろん、それまでに存在した人権課題がさらに顕在化する社会となる。それについての危機感や市としての態度(より行政からの支援を充実していくなど)についての文言がどこかに明記されるべきではないか。	総論 No3
14	施策の方向性シート	P73 第4章-1-(3) 問題点・今後想定される事項	成果で事業所調査のことに触れているのだから、それで把握した課題に向けてどのように取り組むのか記載してもらいたい。	—
15	施策の方向性シート	P73 第4章-1-(3) 進捗状況	(1)(4)と大きく書きぶりは変わらないのに、B評価となった理由はなにか、そしてその課題を今後の取り組みにどのように生かしていくのかいずれかに記載してもらいたい。	総論 No5
16	施策の方向性シート	P73 第4章-1-(3) 指標について	①指標は1,3以外すべて2022年度目標値のうち、指標1,3以外は既に満たしているが、施策の方向性の進捗状況が変わらずBである理由は何か。 ②それぞれの指標が施策の実現度を測るうえで効果的かどうか疑問。(1:2020年の講座数の減少はコロナ禍の影響であると考えられる。2:相談件数の増加よりもむしろ減少の方が施策の実現に向かっていくといえ、目指すべきことではないか。3:1と同様、利用者数の大幅減少はコロナ禍の影響であるといえる。4:厚生労働省の調査によると、2020年度の男性育休取得率は12.65%であるから、先進的な自治体としての地位を得るためには2022年度目標値をもう少し高い値に設定する必要があるのではないか。5:こちらもすでに達成しているため、更に高い値を目指すべきであると考えられる。	総論 No5
17	施策の方向性シート	P73 第4章-1-(3) 今後の方針	その他の項目にて触れられていなかった「生理用品の購入が困難な女性」への支援活動が、今後の方針第一項に含まれているのはなぜか。その経緯が知りたい。	総論 No4
18	施策の方向性シート	P73第4章-1-(3), P81第5章-1-(4)	多様性に真摯に向き合うことが叫ばれている中で、男女平等や地域自治の重要性も益々必要になってくると思います。コロナ禍において難しいかじ取りとなりますが、是非前向きに対応のほどよろしくお願いたします。	—
19	施策の方向性シート	P74 第4章-1-(4) 成果	4つの指標名の2020年度実績値は過年度に比べてすべて激減したのに、過去2ヶ年と同じA評価が続いているのは解せない。成果の欄の「・・・をしました」のみの記述からは、2020年度の指標実績値の激減にもかかわらず、過去と同じ成果(順調に進んでいる)であることの根拠がわかりづらい。	総論 No8

No	種別	指摘箇所	指摘内容	意見集(案)の掲載
20	施策の方向性シート	P74 第4章-1-(4) 問題点・今後想定される事項	「成果」記載のある支援を継続するのか、新たに異なったものを計画しているのか、記載する必要がある。	—
21	施策シート、 施策の方向性シート	P28 第4章-2、 総合評価の理由 P75 第4章-2-(1)	市民ホールの来館者数はダウンしたものの、施策目標に向けた成果が多様に記述されており、また他の指標の極端な落ち込みも見られないところから、PDCAから判断される進捗状況が順調(A評価)であることが十分に理解できる。	—
22	施策シート	P28 第4章-2 総合評価の理由	今後、ウィズコロナ中でも文化活動を新しい形で継続していくことが大切となりますが、出来得る新施策を創意工夫により提供し全国に発信していくことが文化都市豊中にとって必要だと思えます。今年度施策内容に期待しています。	—
23	施策シート	P29 第4章-3 総合評価の理由	総合評価の理由の欄ですが「学ぶ意欲や個人のスキル向上を図りました」(4行目)、「地域魅力発信・地域連携事業をとおして地域課題への理解を深めました」(8行目)とありますが、それぞれ、主語が市民なのか、施設側なのか文面からわかりにくいと感じました。	各論 4のNo2
24	施策シート	P29 第4章-3 総合評価の理由	「健康と生きがいづくりのための支援は進んでいますが、引き続きコロナ禍における非来館型サービス等の充実に向けた取組みを進めていく必要があるため、施策全体の評価を「B」としました」と記載しているが、理由を見ると予定した事業は概ね成果が出ていると判断できる。よって、「今後はコロナ禍における非来館型サービス等の充実に向けた取組みを進めていく必要があるが、健康と生きがいづくりのための支援は進んでいるため、施策全体の評価をAとしました」でもいいのではないかと。	総論 No5
25	施策の方向性シート	P77 第4章-3-(2) 成果など	施設利用者の大幅な減少や中止イベントに対応する支援や運営方法の見直しを行うとあります。また一部、代替手法を行ったとありますがその効果のほどはわかっておりません。A評価であった2019年度の指標と比較しても、2020年度の評価はBではないかと思われる。	総論 No8
26	施策の方向性シート	P76 第4章-3-(2) 今後の方針	問題点の第二項目に「若年者層の参加を広く促進する必要」とあるため、今後の方針にもその具体的な手段について触れる必要があると考える。	総論 No4

○第5章

No	種別	指摘箇所	指摘内容	意見集(案)の掲載
1	施策シート	P30 第5章-1 総合評価の理由	評価「B」の理由について、「協働の意識の浸透等の充実の必要があるため」となっているが、(方向性シートの(1)～(4)の指標の中でも特に)(2)の出前講座の実施件数が著しく減っているが、これについては評価理由に関連していないのか。	— (第2回で回答済み)
2	施策シート	P30 第5章-1 総合評価の理由	本件はアウトカム指標が(簡便に)取りづらい領域であり、その意味でB評価は妥当と思う。ただしリーディングとしてはそうしたことを根拠にすべきで、なお余談を許さない表現ではないほうが、PDCA評価に馴染むと思われる。	総論 No5 各論 5のNo1
3	施策シート	P30 第5章-1 総合評価の理由	最後の記述で「協働の意識の浸透等」が必要とあるが、上の○にはそれに相当する記載がない。だれにとってどのような意識が浸透していないのか、具体的な記述が必要。	各論 5のNo2
4	施策シート	P30 第5章-1 総合評価の理由	「新型コロナに関する情報発信等、必要な情報をタイムリーに発信しました」とありますが、ポイントは「必要な情報とは何か？」ということです。市が必要と思うことと、市民が必要とすることとに乖離はないのかという観点からの検証が見受けられません。 ともすれば、行政側の一方通行になり、自己満足になりがちですので、市民のニーズや思いを汲み取り、市政に反映させることを欠いてはならないと思います。 具体的に言えば、2020年11月15日までは、陽性者の数とともに、個々の陽性者の「年代、性別、発症日、症状、濃厚接触者など」が公表されていましたが、以降は陽性者の数のみになりました。公表内容を府に準じたとのことですが、これは市民への情報公開のあり方に関わるものであり、それまで公開してきた情報を行政の都合で非公開にすべきではないと思います。 「情報共有・参画・協働」の観点からどうだったのか、きちんと検証をすべきです。	—
5	施策の方向性シート	P78 第5章-1-(1) 成果など	HPのアクセス数やSNSのフォロワーが伸びたのは当然でしょう。新型コロナウイルスの脅威が喧伝され、度重なる「緊急事態宣言」の発出によって、市民生活は根底から揺るがされ、感染の危機が身近に迫ってきたわけですから、誰も情報を求めた結果でしょう。 そして、その情報は行政が一元的に把握・管理しているのですから、市民がそこにアクセスが集中するのもまた当然です。だから、アクセス数やフォロワー数が増えたことをもって、市の情報発信のあり方がオッケーということにはならないと思います。 常に市民目線での発信を心がけ、独断に陥らないよう心すべきで、自画自賛的な書きぶりはいかかがかと思います。「A」評価は甘すぎると思います。	—

No	種別	指摘箇所	指摘内容	意見集(案)の掲載
6	施策の方向性シート	P79 第5章-1-(2)	<p>「市民の声」は前年度の564件から898件に増えていますが、これはどのように分析されているのか(コロナ関連によるものと推測はしますが)示してほしいです。</p> <p>また、「豊中市市民の声の処理に関する要綱」には「市民の声として処理をしないもの」として8項が列記され、これらはカウントされません。</p> <p>例えば、「(6) 質問、問い合わせ又はこれらに類するもの」がありますが、これは除外されています。これは市民が知りたいこと、関心があることですので、それでいいのかと思います。</p> <p>市民が「市民の声」に寄せた総数をきちんとあげ、そのうちカウントしないものは何件としたのか、あるがままの数字をきちんと出すべきだと思います。実態が不明確なままでは評価のしようがないと思います。</p>	—
7	施策の方向性シート	P82 第5章-2-(1) 指標について	デジタル化推進事業(影響度の大きかった事業)の根拠となるような指標を加える等、成果を見えやすくするための指標の見直しが必要ではないか。	総論 No6
8	施策の方向性シート	P82 第5章-2-(1) 成果など	指標1市徴収金収納率について、その内訳ごとに推移を分析し、収納率が向上していれば「成果」に、問題があれば「問題点～」に記入するとともに、主な対策を「今後の方針」にまとめてはいかがでしょうか。	総論 No4
9	施策の方向性シート	P83 第5章-2-(2) 成果など	今後は、「公共施設等総合管理計画」「個別施設計画」のスケジュールどおりに個々の取り組みがすすんだのか、問題が発生したもしくは発生が予測される施設はないか、その場合どのような対策を講じたのかもしくは講じる予定なのかといった説明を記載することが、より重要になると思います。	—

○リーディングプロジェクト

No	種別	指摘箇所	指摘内容	意見集(案)の掲載
1	シート全般	P89,P90 リーディング プロジェクト	たしかにプロジェクトは順調に進んでいるが、今後本来の目的である「南部地域の活性化」に資するプロジェクトにしてほしい。そのためには、市民、地域住民参加型のプロジェクトをさらに充実させて欲しい。	各論 6のNO1
2	施策シート	P89 総合評価の理由	「想定しているスケジュール通り順調に進んでいることから『A』としました」とありますが、このプロジェクトは20年がかりのもので、その意味ではまだ端緒にあります。しかも、「今後の予算総額については、現時点で確定していない事業もあることから算出が困難です」とのことです。したがって、この時点で昨年の「B」から「A」評価にするのは違和感があります。「B」に留め置くべきです。	—
3	施策の方向性 シート	P90 成果など	4つの指標がありますが、うち3つは「市民意識調査」からのもので、2020年度は調査年度ではないですから、数字がありません。しかし、評価は「B」から「A」になっています。「成果」がいくつか書かれています。これをもって「A」とするのは納得感が持てません。プロジェクトはまだまだこれからなので また、昨年度の第2回審議会で、「このシートには指標が4つあります。その中で、2つ目の「子育てがしやすいと思う人の割合(南部地域)」と4つ目の「まちに愛着があるから、南部地域に住み続けたいと思う人の割合」の数値が前回より下がっています。これについて、成果、問題点・今後想定される事項、今後の方針に記載されていません。しかし進捗状況の評価はCからBになっています。2つの指標が悪化しているのも関わらず、全体の評価がB評価になっていることに疑問を感じます。おそらく(仮称)庄内さくら学園の開校に向け、順調に進んでいることを評価したのだと思いますが、私はそこに落とし穴があると心配しています。10年ほど前になりますが、通常、デベロッパーがマンションを建てる時には、事前に調査会社がその土地の調査をいろんな観点から行います。そのうちの一つに「学区の評価」というのがあります。これは、ファミリー層にとっては極めて大事な情報になっていますから、調査項目には必ずあります。私が入手した資料によると、その中で、庄内地区のケースの調査報告書には「庄内周辺は、6中、7中、10中の3校区あるが、いずれも人気は低く、庄内以外の地域からは敬遠される傾向がある」と書いてありました。これは調査をした会社だけではなく、多くの人を持っている庄内に対するイメージと重なるのではないかと思います。現実には、昨年の総計審の会議で「庄内には部落の地域があったんでしょ」という発言があったと聞いています。これは課題を抱えている庄内を部落と重ねたもので、まさにマイナス・イメージに基づくもので、明らかに部落差別発言だと私は思います。その場で聞かれた委員もそのように受け止めたと聞いております。ですので、こういったことをふまえず、ハード面の整備だけに重きをおくと、このプロジェクトはうまくいかないのではないかと思います。だから、指標が意味するデータをきちんと読み取って、実績値が目標値をクリアするような具体策を課題としてきちんと書かないとPDCAサイクルもまわらないと思います。」(第2回会議 議事要旨12ページ参照)。 これは、いわゆるハード面だけではなく、庄内を中心とする南部地域に注がれる人々のまなざしに潜む予断や偏見、マイナス・イメージを変えるソフト面の取り組みをおろそかにしてはいけないという意味だと思います。 しかし、シートからはそうした課題認識がうかがえません。 公開の審議会における委員の差別発言という重大性をふまえるならば、「人権」に根差した南部地域のまちづくりという視点での検証、課題提起、取り組みを書き込むべきだと思います。	—

2021年度(2020年度実施分)政策評価結果への意見集(案)に対する意見について

No	該当箇所	意見集(案)に対するご意見	意見集(案)の反映
1	全体をとおして	内容については特に問題ない。短期間に対応して頂き有難うございました。 今後はむしろ、実際の公表段階において、紙ベースの仰々しい意見集の作成を減らす一方で、ダイジェスト版やネット・機関誌での広報等、活動内容・結果を広く市民に周知するための方策を模索し、様々な角度から市民の意見を吸い上げるやり方をとることの方が大切になると思う。	—
2	P1 総論 No3	(第二文「特に、指標値が大きく～」以下) コロナ禍の社会的影響は大きく、その対処に向けて方針を柔軟に変更することはPDCAサイクルが想定するところで、総合評価や進捗状況の記載変更が妥当な場合があることを念頭に置かれたい。	P1 総論 No3に追記
3	P2 総論 No5	(第二文「『B』評価になる～」以下) 「B」評価とは、取り組み微調整の必要を意味するため、具体的にどのような課題が～(以下同じ)	P2 総論 No5に追記
4	P3 各論1 第1章 No2	(付記)所管政策の肯定的評価をより積極的に行うリード事例となることを期待する。 [補足:委員も本件は大変優れた取り組みだと思う。こうした事例を所管課が積極的に評価する風土を、政策評価制度を通じて浸透させることは職員の士気向上にもつながると考える]	P3 各論1 第1章 No2 に追記
5	P4 各論4 第4章 No2	主語などの文章表現に関する指摘意見ではなく、実際の内容にかかわるものを意見集に入れるべきと考える。	ご意見をふまえ、第4章のNo2のご意見を削除しました。

2021 年度(2020 年度実施分)政策評価結果 に対する意見集(案)

本意見集は、豊中市総合計画審議会の審議過程において各委員から出された意見を取りまとめたものです。

今後、政策評価の運用にあたっては、本意見集及び添付している各部会の議事要旨をご活用いただくことをお願いするものであります。

令和 4 年 (2022 年) 1 月●日

豊中市総合計画審議会
会長 加藤 晃規

2021年度(2020年度実施分)政策評価結果に対する意見

当審議会では、2021年度(2020年度実施分)政策評価結果において、第三者の立場から、政策評価が事実に基づいて正しく評価されているか、P D C Aサイクルがまわるような書き方になっているか、市民が読んだときにわかりやすくなっているかの視点から審議を行い、意見として取りまとめましたので、報告します。

◆総論について

1	<p>【評価シート全体を通して】</p> <p>コロナ禍における施設の休館やイベントの中止があり、評価指標の実績値が大きくダウンした施策も数多く見られる。その中で抜本的な見直しが必要なC評価の施策や施策の方向性が見られないこと、またP D C AサイクルがうまくまわっているA評価の施策や施策の方向性が数多く見られることは大いに評価できる。</p>
2	<p>【評価シートの記入内容について】</p> <p>昨年より評価シートの各項目の記載内容の関係がわかりやすくなり、施策に関する担当課の考えが伝わるように書いている評価シートが多く見受けられる。次回の評価でも本意見集を参考に、よりわかりやすいシートを作成することを期待する。</p>
3	<p>【シートの記入内容について】</p> <p>評価シートの成果や問題点の記述において、コロナ禍を想定外の要素として扱い、P D C Aへの影響を重く見ない例も散見される。特に、指標値が大きくダウンしているような場合には、総合評価や進捗状況の評価にコロナ禍の影響も適切に反映すべきである。ただし、コロナ禍の社会的影響は大きく、その対処に向けて方針を柔軟に変更することはP D C Aサイクルが想定するところであり、総合評価や進捗状況の記載変更が妥当な場合があることを念頭に置きたい。</p>

4	<p>【シートの記入内容について】</p> <p>「問題点」と「今後の方針」が整合していないものも少なくない。PDCAのCAにあたるためであり、「問題点」の解決のための「今後の方針」であることをより意識して記述してほしい。</p>
5	<p>【総合評価の根拠について】</p> <p>B評価をしているシートの中でも、PDCAサイクルの観点ではA評価と判断できるものがある。「B」評価とは、取組みの微調整の必要があることを意味するため、具体的にどのような課題が残ったのかを評価し、その対応策まで書くべきである。</p>
6	<p>【成果の根拠の書き方について】</p> <p>成果に記述する内容は、指標もしくは本文中から読み取れるよう、数値的な根拠をもって書くよう心がけられたい。</p> <p>(例)</p> <p>①第2章-2-(2)では、「子宮頸がんワクチンの接種率増加につながった」とあるが、指標欄には子宮頸がんワクチンについての数値が示されていないので、成果の本文中に数値を記載するとより分かりやすくなる。</p> <p>②第2章-3-(1)では、影響度の大きかった事業において、WEB講習やYOU TUBE配信を行ったと挙げているので、成果において講習受講者数やアクセス数等も記載すると現時点での成果が見えやすくなる。</p>
7	<p>【成果の書き方について】</p> <p>全般的に取組みばかりが記入されていて、成果が見えないシートが見受けられるが、本来はアウトカム（社会的成果）で記述すべきである。</p> <p>(例)</p> <p>第1章-2では「研修を実施した、タブレットを活用した、協定を締結した」等「Do」が多く記載されているが、「感染症予防と保育の質向上のための研修を行った結果、クラスタを発生させずに保育の質自体を維持できた」といった書き方が望ましい。</p>

8	<p>【総合評価の根拠について】</p> <p>A評価をしているシートの中でも、その根拠が不十分なものがある。指標等が大きく減少している中でもA評価(順調に進んでいる)である根拠を書く必要がある。</p>
9	<p>【施策の方向性シートのPDCAサイクルについて】</p> <p>今年度、多くの施策の方向性シートで新型コロナウイルス感染症の影響と対応について記述されている。今後も、「成果」や「問題点・今後想定される事項」の記載にあたっては、施策の方向性と関係のある社会問題や環境の変化、制度変更などへの対応について検討し、その結果を「今後の方針」に反映させることで、よりPDCAサイクルが回るようになる。</p>

◆各論について

1. 第1章「子ども・若者が夢や希望をもてるまちづくり」

1	<p>【総合評価の理由について】</p> <p>施策名(P L A N)の「未来を切り拓く力が育まれる」ことへの達成度(成果)が分かりにくいので、わかりやすく記載する必要がある。</p>
2	<p>【成果の書き方について】</p> <p>コロナ禍における子ども食堂フードデリバリー事業の創設など画期的な取り組みを記載しているが、こうした新たな取り組みをコロナ禍において開始されたことは意義が大きいと感じる。成果が出ているのであれば記入し、評価にも反映してもいいのではないか。また、このような肯定的な評価をより積極的に行う風土を浸透させることを期待する。</p>

2. 第2章「安全に安心して暮らせるまちづくり」

1	<p>【第2章-1：総合評価の理由について】</p> <p>評価の理由が「地域共生社会実現のための相談支援体制強化が必要・・・Bとした」とあるが、地域共生社会実現は簡単に達成できるものではなく、Bの根拠が分かりにくい。</p>
2	<p>【第2章-4：総合評価の理由について】</p> <p>もともと「対策の充実」よりも「安全の確保」といったアウトカム表現が望ましいと思うが、取り組み自体は着実かつ住民との連携をとったものに見受けられる。そのため、評価根拠としては、事業(アウトプット)の量ではなく、住民(組織)に安全対策の情報共有が浸透していった、など成果中心に記載するよう心がけられたい。</p>

3. 第3章「活力ある快適なまちづくり」

1	<p>【第3章-1：総合評価の理由について】</p> <p>「一部未達成の部分や課題もあることから、施策全体の評価を「B」としました」と記載しているが、「環境基準で一部未達成なものがあり、またコロナ禍の影響を受けて数値が下がっている指標があるなど課題もあることから、施策全体の評価を「B」としました」と具体的に書いたほうが分かりやすくなる。</p>
2	<p>【第3章-1-(2)：今後の方針の書き方について】</p> <p>「みどりの質の向上と活用を図り、みどりを活かした安全で快適な暮らしの実現」とあるが、「みどりの質の向上と活用」とは、公園緑地の整備のことか、農地の保全・活用のことであるのか、曖昧でわかりづらい。また、みどりを活かすことがいかに「安全な暮らし」につながるのかが、成果等にもその因果関係は説明されておらず、今後の指針として「みどり」による安全な暮らしを掲げるのであれば、その現状や手段等についても更なる説明が必要である。</p>

4. 第4章「いきいきと心豊かに暮らせるまちづくり」

1	<p>【第4章-1：総合評価の理由について】</p> <p>「人権についての市民意識調査」について記入しているが、この調査について、施策の方向性シートでは、影響のあった事業、指標、成果等の欄に記載がない。総合評価の理由となる取組みなので、施策の方向性シートでもその内容や調査結果等記載するとわかりやすくなる。</p>
---	--

5. 第5章「施策推進に向けた取組み」

1	<p>【第5章-1：総合評価の理由について】</p> <p>アウトカム指標が（簡便に）取りづらい領域であり、その意味でB評価は妥当と思う。ただし総合評価の理由づけとしては、アウトカム指標が（簡便に）取りづらい領域であることを根拠にした方がP D C A評価に馴染むと思われる。</p>
2	<p>【第5章-1：総合評価の理由について】</p> <p>最後の記述で「協働の意識の浸透等」が必要とあるが、上の○にはそれに相当する記載がない。だれにとってどのような意識が浸透していないのか、具体的な記述が必要である。</p>

6. リーディングプロジェクト「南部地域活性化プロジェクト」

1	<p>【総合評価の理由について】</p> <p>プロジェクトの評価はしているが本来のP L A Nである「南部地域の活性化」の観点からP D C Aの評価を心がけられたい。評価にあたっては、市民、地域住民の参画の視点を意識されたい。</p>
---	--

令和 3 年度(2021 年度)第 3 回豊中市総合計画審議会 表決書

令和 3 年度(2021 年度)第 3 回豊中市総合計画審議会における案件について、
下記のとおり書面により表決します。

記

案件	案件	内容	表決内容
1	2021 年度(2020 年度実施分)政策評価結果への意見集の最終決定について	第 3 回審議会でもいただいた意見をふまえて、「2021 年度(2020 年度実施分)政策評価結果への意見集」を作成することの最終決定を、会長一任で行うことについて	賛成・反対

※表決については、賛成・反対のいずれかに○印を記入してください。

豊中市長宛て

令和 3 年(2021 年) 月 日

(委員名) _____

12 月 28 日(火)までに事務局までメールにてご提出ください。

<事務局>

〒561-8501 豊中市中桜塚 3-1-1

豊中市 都市経営部 経営計画課 担当：上田、松田、田中

☎ 06-6858-2773 ファクス 06-6858-4111

メール keiei2@city.toyonaka.osaka.jp

案件に対する質問シート

- 案件 1「政策評価結果への意見及び意見集(案)の構成について」に対する質疑がある場合は、下記にご記入ください。

No	該当箇所	質疑の内容
1		
2		
3		
4		
5		

◆記入にあたっては、各行を適宜広げてご記入ください。

◆12月17日(金)までに事務局まで、メールによりご提出ください。

<事務局>豊中市 都市経営部 経営計画課
担当：上田、松田、田中
メール keiei2@city.toyonaka.osaka.jp

案件に対する意見シート(追加意見)

●案件 2「政策評価結果への意見及び意見集(案)の構成について」

資料 4 について、ご意見がある場合、下記にご記入ください。

No	該当箇所	意見の内容
1		
2		
3		
4		

◆記入にあたっては、各行を適宜広げてご記入ください。

◆11月17日(水)までに事務局まで、メールによりご提出ください。

◆ご意見がない場合は、その旨をご返信ください。

＜事務局＞豊中市 都市経営部 経営計画課

担当：上田、松田、田中

メール keiei2@city.toyonaka.osaka.jp

令和3年度 豊中市総合計画審議会

第1回会議 議事要旨

日時 令和3年(2021年)11月17日(水)

場所 書面会議

出席者 加藤会長、久委員、大野委員、宗前委員、濱元委員、水上委員、壬生委員、宮前委員、
道上委員、宮川委員
計10名

【本会議の開催方法について】新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面会議とし、表決書等の返信期日までの提出をもって会議への出席とした。

議 事 概 要

1. 開会

会議資料の配布、返信期日までの提出をもって出席とする旨説明。

2. 案件1「総合計画審議会委員からの要望について」

資料2：総合計画審議会委員からのご要望について

資料3：令和3年度(2021年度)第2回豊中市総合計画審議会 表決書

資料2のとおりまとめることについて、表決を行った結果、「賛成10票」
よって、原案のとおり進めることについて承認。

3. 案件2「政策評価結果への意見及び意見集(案)の構成について」

資料4-1：「2021年度(2020年度実施分)政策評価結果について」に対する意見について

資料4-2：資料4-1の補足資料

資料5：2021年度(2020年度実施分)政策評価結果への意見集(案)について

資料6：案件に対する質問シート

資料7：案件に対する意見シート(追加意見)

資料8：案件に対する意見シート(意見集案)

参考2：2021年度(2020年度実施分)政策評価結果

資料4-1及び資料5に対して質疑がある場合は、資料6に記入し、事務局へ提出。

また資料4-1に対して追加意見がある場合は、資料7に記入して事務局へ提出、資料5に対して意見がある場合は、資料8に記入し事務局へ提出。

【案件に対する質問】

なし

【資料4-1に対する追加意見】

別紙1のとおり

【資料5に対する意見】

別紙2のとおり

4. 案件4「その他」

資料6, 7, 8の提出期限の確認及び今後の日程の案内

5. 閉会

資料7 意見シートでいただいた、資料4-1への追加意見について

No	種別	該当箇所	政策評価結果への追加意見	意見集(案)の掲載
1	施策の方向性シート	シート全般	今年度、多くの施策の方向性シートで新型コロナウイルス感染症の影響と対応について記述されていました。今後も、「成果」や「問題点・今後想定される事項」の記載にあたっては、施策の方向性と関係のある社会問題や環境の変化、制度変更などへの対応について検討し、その結果を「今後の方針」に反映させると、よりPDCAサイクルが回るようになると思います。	総論 No9に追加
2	評価シート	シート全般	総合計画審議会の場に各課の担当者が出席する必要はないと考えますが(各分野にはそれぞれの専門の審議会などがあり、政策の内容はそこで論議されているはずですから)、なぜその提言が採用されなかったのか、その理由については簡単な書面であっても委員にフィードバックされるべきであると考えます。そうでないと同じ内容の提言が、毎年繰り返される可能性があると思います。	—
3	評価シート	シート全般	細部に亘り的確に意見、指摘がなされており、十分な成果が出ていると思う。	—
4	施策シート	P27 第4章-1 総合評価の理由	(資料4-1のP6のNo1の指摘内容への追加意見) 人権についての市民意識調査の結果などを具体的に記述していく、という点について、とくに部落問題についてはこの調査でしか市民意識を測ることができないので、たとえば「同和地区を含む校区に引っ越したくない」に回答者の半数に近い人が「そう思う」としているなど、課題を明確に記載してもらいたい。	—
5	施策シート	P27 第4章-1 総合評価の理由	男女共同参画にかかわる「市民・事業所意識調査」から把握された課題は何か。意識向上だけで終わらずに明記してもらいたい。	—
6	施策シート、 施策の方向性 シート	P27 第4章-1 総合評価の理由 P72 第4章-1-(2)	コロナ禍はコロナに関わる差別はもちろん、それまでに存在した人権課題がさらに顕在化する社会となる。それについての危機感や市としての態度(より行政からの支援を充実していくなど)についての文言がどこかに明記されるべきではないか。	総論 No3に追加
7	リーディング プロジェクト	P89,P90 リーディング プロジェクト	たしかにプロジェクトは順調に進んでいるが、今後本来の目的である「南部地域の活性化」に資するプロジェクトにしてほしい。そのためには、市民、地域住民参加型のプロジェクトをさらに充実させて欲しい。	各論 6のNo1 に追加

※いただいた追加意見については、第3回書面会議で資料4-1及び意見集(案)に追記して、資料として配布します。

資料8 意見シートでいただいた、意見集案へのご意見について

No	該当箇所	意見集案へのご意見
1	全体をとおして	内容については特に問題ない。短期間に対応して頂き有難うございました。 今後はむしろ、実際の公表段階において、紙ベースの仰々しい意見集の作成を減らす一方で、ダイジェスト版やネット・機関誌での広報等、活動内容・結果を広く市民に周知するための方策を模索し、様々な角度から市民の意見を吸い上げるやり方をとることの方が大切になると思う。
2	P1 総論 No3	(第二文「特に、指標値が大きく～」以下) コロナ禍の社会的影響は大きく、その対処に向けて方針を柔軟に変更することはPDCAサイクルが想定するところで、総合評価や進捗状況の記載変更が妥当な場合があることを念頭に置かれない。
3	P2 総論 No5	(第二文「『B』評価になる～」以下) 「B」評価とは、取り組み微調整の必要を意味するため、具体的にどのような課題が～(以下同じ)
4	P3 各論1 第1章 No2	(付記)所管政策の肯定的評価をより積極的に行うリード事例となることを期待する。 [補足:委員も本件は大変優れた取り組みだと思う。こうした事例を所管課が積極的に評価する風土を、政策評価制度を通じて浸透させることは職員の士気向上にもつながると考える]
5	P4 各論4 第4章 No2	主語などの文章表現に関する指摘意見ではなく、実際の内容にかかわるものを意見集に入れるべきと考える。

※いただいたご意見については、第3回書面会議で意見集(案)に追記して、資料として配布します。